

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！



監督：オオタ ヴィン
「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆
エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

福祉映画会

主催 日の出町社会福祉協議会

2月14日 (水)

1部
2部

9:30 開場 10:00~11:45
18:00 開場 18:30~20:15

イオンシネマ日の出

詳しくは、裏面をご覧ください



小学生がテラスを建設中!

「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で開催された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が作ったよ!



ナレーション 吉岡秀隆



エンディングテーマ ザ・ブルーハーツ



映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園学長)



茂木 健一郎

(脳科学者)



尾木 直樹

(教育評論家)



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか? お申し込みは、まほろばスタジオ▶



2月14日(水)「夢みる小学校」福祉映画会【入場無料】※定員 各回150名

★会場 イオンシネマ日の出

★時間

1部 9:30 開場 10:00~11:45

2部 18:00 開場 18:30~20:15

社会福祉協議会にて、入場引換券を配布

① 1/4(木)~1/19(金) 社協会員 優先

② 1/22(月)~ 一般の方

★申込みから上映までの流れ

①社協窓口まで入場引換券を取りに来てください(鑑賞する人数分を配布します。上映時間をご指定ください。)

②当日、上映開始時間までに、入場引換券を【優先入場券】に引き換えてください。受付時間内に入場引換券を優先入場券に引き換えられない場合は無効となります。

★問合せ ボランティアセンター ☎597-6187

✉ vc@hinodeshakyo.jp.org